

永世皇族制と世数限定制のポイント

永世皇族制	世数限定制
<p>< 内容 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天皇及び皇族から出生した者は、世数によらず皇族とするもの。 ・ 皇室の規模は、皇籍離脱制度により調整。 	<p>< 内容 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 皇族の範囲を、法令で定める一定の世数の者に限定するもの。
<p>< 特徴 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 皇室の実情に応じた弾力的な調整が可能。 ・ 各皇族の将来の立場や皇室の将来の範囲についての予測が可能となるよう、運用面での工夫が必要。 	<p>< 特徴 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 皇族の範囲が法令上は明確に定まる。その結果、各皇族の将来の立場や皇族の将来の範囲の予測がしやすい。 ・ 出生の動向等次第では、皇族の数が少なくなりすぎ、皇位継承が不安定になるおそれ。 ・ また、皇族の数が増えた場合に、法定の世数の範囲内の皇族を皇籍離脱制度によって減らすことが困難。
<p>< 歴史 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明治典範及び現行典範において採用。 	<p>< 歴史 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 律令では4世までが皇族。 ・ 背景として複数配偶制。 ・ 実際には平安時代以降、臣籍降下、親王宣下等により弾力的運用。